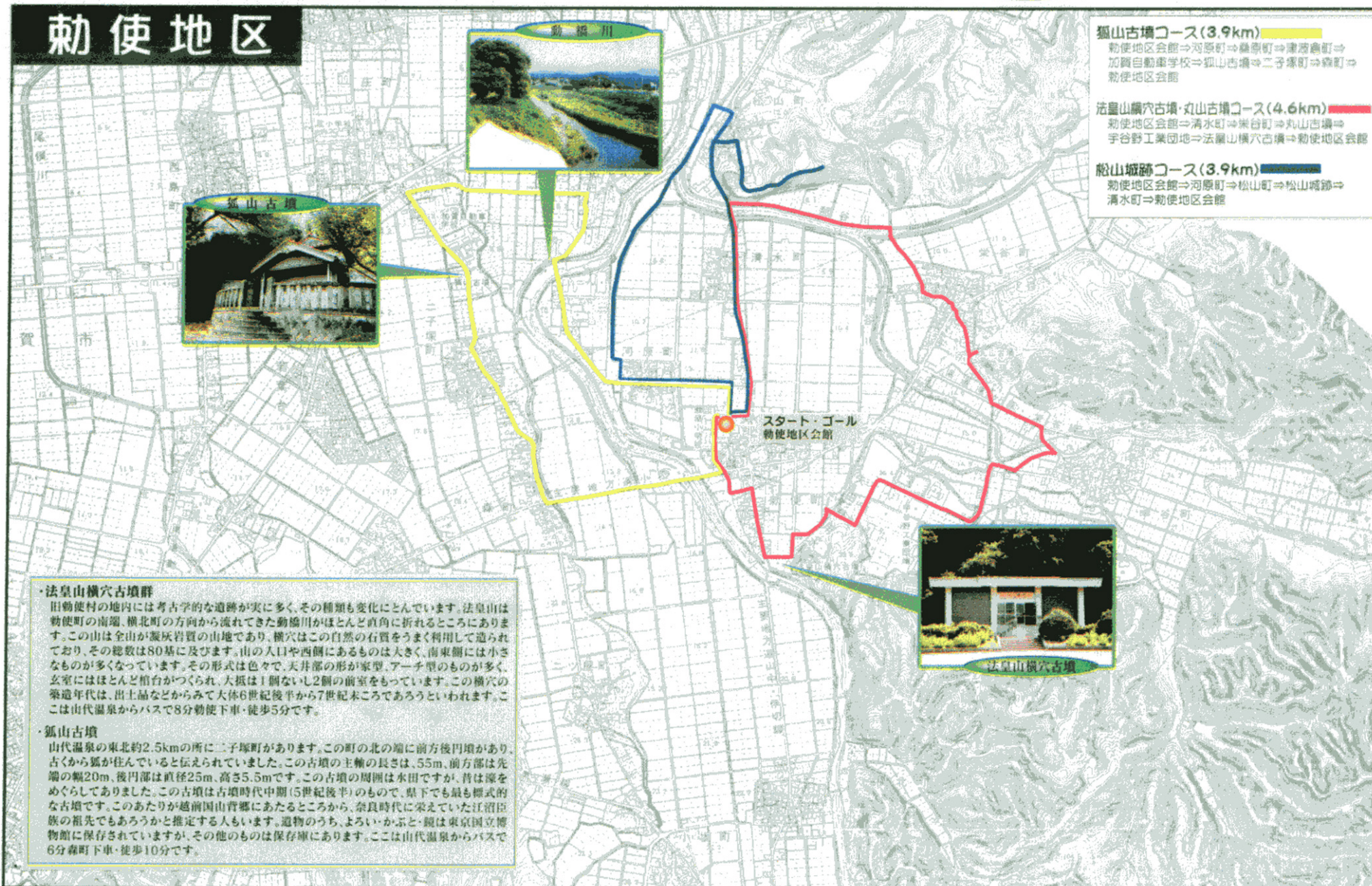




勅使地区



法皇山横穴古墳群

旧勅使村の地内には考古学的な遺跡が多く、その種類も変化にとんでいます。法皇山は勅使町の南端、横北町の方から流れてきた動橋川がほとんど直角に折れるところにあります。この山は全山が凝灰岩質の山地であり、横穴はこの自然の石質をうまく利用して造られており、その総数は80基に及びます。山の入口や西側にあるものは大きく、南東側には小さなものが多くなっています。その形式は色々で、天井部の形が家型、アーチ型のものが多く、玄室にはほとんど棺台がつくれ、大抵は1個ないし2個の前室をもっています。この横穴の築造年代は、出土品などからみて大体6世紀後半から7世紀末ころであろうといわれます。ここは山代温泉からバスで8分勅使下車・徒歩5分です。

狐山古墳

山代温泉の東北約2.5kmの所に二子塚町があります。この町の北の端に前方後円墳があり、古くから狐が住んでいると伝えられていました。この古墳の主軸の長さは、55m、前方部は先端の幅20m、後円部は直径25m、高さ5.5mです。この古墳の周囲は水田ですが、昔は濠をめぐらしてありました。この古墳は古墳時代中期(5世紀後半)のもので、県下でも最も標式的な古墳です。このあたりが越前国山内郡にあたることから、奈良時代に栄えていた江沼臣族の祖先であろうかと推定する人もいます。遺物のうち、よろい・かぶと・鏡は東京国立博物館に保存されていますが、その他のものは保存庫にあります。ここは山代温泉からバスで6分森町下車・徒歩10分です。